

(個人)

(報告：田中)

塩見岳(東峰3,052m) 南アルプス

【日時】平成25年8月18日(日)～19日(月)(1泊2日)

【メンバー】P&L 田中正行

(計 1 名)

【行動記録】

大宮(17日13時29分)＝川島IC

＝松川IC＝越路P(18時31分)(泊)

①越路P(4時55分)＝鳥倉登山口(5

時34分)＝三伏峠(8時28分)＝本

谷山(10時15分)＝塩見小屋(12

時30分＝13時05分)＝塩見岳(1

4時18分)＝塩見小屋(15時30分)(泊)

②塩見小屋(5時15分)＝塩見岳(6時21分)＝塩見小屋(7時20分＝7時

40分)＝三伏峠(10時35分)＝鳥倉登山口(12時55分)＝越路P(13

時34分)＝小渋温泉(14時21分)(泊)

1日目 8時間25分 2日目 7時間23分 計 15時間48分

【装備・食料等】

ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、ツェルト、水、朝・昼食、行動食

【感想】

明るいうちに越路林道ゲート前の駐車場に着いた。路上を含めると50台以上の車が既に停まっていた。トイレ、水道もあるので一夜を過ごすには十分である。明るくなった頃、身支度をして出発。鳥倉登山口から三伏峠までは樹林帯を3時間歩く。丸太の橋が所どころにあった。三伏山、本谷山を通過して、急登を上がると塩見小屋に着いた。午後になって、ガスが上がってき始めていたが、塩見小屋は収容30名という小さな小屋で居場所もないので、往復2時間の塩見岳に上った。翌日は、4時半の朝食の後、再び、山頂を目指す。ガスが上がってきていたが、西峰が近づくと、周りは青空と変わった。山頂からは、富士を始め、仙丈、甲斐駒、白根三山、北・中央アルプスと360度の展望を楽しむことができた。

